

校内研修計画

山梨市立後屋敷小学校

1. 研究主題

自ら学び、思考し、表現する児童の育成 ～授業の構造化と家庭学習の充実を通して～

2. 主題設定の理由

(1) 本校児童の実態

- ・ 3 学年以上は、一学級の児童数が約 40 名である。
- ・ どの学級にも個別の支援を必要とする児童が複数名いる。
- ・ 課題解決の方法を自ら考えたり、必要な情報を探したりすることに課題がある。
- ・ 課題解決の見通しを持つことに課題がある。
- ・ 自分の考えをまとめたり、表現したりすることに抵抗のある児童が比較的多い。

(2) 研究のあゆみ

本校では、これまでの4年間の継続研究の中で、言語活動に取り組むこと自体が目的ではなく、「言語活動は、あくまでも各教科等の目標を達成するために、最も効果的で意図的、計画的に設定された学習活動の具体的な手だてである」と再確認をして研究を進めてきた。

今年度はその授業改善の上に、更に研究を深め、一昨年度県から授業づくりの視点として出された「やまなしスタンダード」を意識した授業づくりと、保護者や学校に配布された「家庭学習の進め～学びの甲斐善八ヶ条～」をもとにした家庭学習を推進・充実させる実践的な研究を行う。

(3) 教育の今日的課題から

近年顕著となってきているのは、知識・情報・技術をめぐる変化の速さが加速度的となり、情報化やグローバル化といった社会的変化が、人間の予測を超えて進展するようになってきていることである。

このような状況の中で、平成32年度から完全実施される新学習指導要領では教育内容の改善事項として、高学年での外国語科の導入に見られる「外国語教育の充実」、プログラミング教育を含む「情報活用能力」の育成、道徳の「特別の教科」化、「現代的諸課題への対応」等が挙げられている。

これらに対応し、新しい時代に求められる資質・能力を育成するとともに、質の高い理解を獲得するためには、どのように教えるか・学習過程の質的改善を図っていかなければならない。

児童生徒の家庭の社会経済的背景から見込まれる学力を大きく上回っている学校においては、①表現力・課題探求力の向上、②授業スタイル、③家庭学習の指導、④学力調査の活用・・・といった観点で様々な取組が行われていることが報告されている

その内容としては、①児童・生徒の様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導をする等、②授業の冒頭で目標を児童に示す活動や、授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れる、適切なノートの取り方など学習方法に関する指導をする等、③家庭学習の課題の与え方について教職員で共通理解を図る、家庭での学習方法について具体例を挙げながら指導する等が挙げられている。

これらの取組みは、文言に違いはあるものの、ほとんどの部分で学力向上を図るための授業改善の指針として出された「やまなしスタンダード」と共通したものである。

しかし、この「やまなしスタンダード」の中身について十分に吟味して指導しないと、「活動あって学びなし」といった授業に陥ったり、単に指導の型をなぞるだけで意味のある学習につながらなかったりという恐れもある。

そこで、本校では「やまなしスタンダード」の深化につとめ、授業の構造化を図るとともに、家庭と連携し、家庭学習を推進・充実させ、児童の主体的で深い学びを実現させていきたい。

3. 研究の具体的内容と方法

(1) 児童の実態分析と指導法の改善

○山梨県学力把握調査（3,5年）、全国学力学習状況調査（6年）の結果分析から、本校児童の実態把握をし、授業づくりの視点や指導法の共通理解を図る。

○学級の実態を把握することにより、児童の課題を的確につかみ、指導に生かしていく。

(2) 授業研究

○ブロックごと1本の授業研究をもち、検証を行う。

(3) 一人一実践の公開授業

○一人一実践を公開し、授業改善と授業力の向上を図る。

(4) 理論研究

○授業の構造化と家庭学習に関わった文献を読み合う。

(5) 研究主題に関わった内容および特別支援教育の学習会

○講師を招聘し、学習会を行い、共通認識をもつ。

(6) 学びの基礎となる学習環境づくり

○発達段階に応じたノート指導を系統立てる。

○授業とリンクした家庭学習となるよう、「家庭学習のすすめ～学びの甲斐善八か条～」をもとにした家庭学習を定着・充実を図る。

(7) 教育課程環流報告

年間研修計画

研究主任 山宮由紀

月	日	曜	回	主な内容	
4	11	水	第1回	研究の方向性・全体計画について	全体
	18	水	第2回	校内研究の全体計画について	全体・ブロック
5	2	水	第3回	研究主題に関わった研究・ブロック研究	全体・ブロック
	16	水	第4回	全国学力・学習状況調査 県学力調査把握調査の採点・分析	全体・ブロック
6	6	水	第5回	学習会（講師招聘）	全体
	20	水	第6回	全国学力・学習状況調査 県学力調査把握調査の結果を踏まえた授業改善	全体・ブロック
7	4	水	第7回	研究主題に関わった研究・ブロック研究	全体・ブロック
	11	月	第8回	研究主題に関わった研究・ブロック研究	全体・ブロック
8	10	金	第9回	教育課程環流報告・学習会（講師招聘）	全体
9	5	水	第10回	ブロック研究	ブロック
	12	水	第11回	ブロック研究	ブロック
10	3	水	第12回	授業案全体検討①	全体
	10	水	第13回	ブロック研究	ブロック
	17	水	第14回	※第6学年「国語」研究授業① T・C要請	全体
	24	水	第15回	授業案全体検討②	全体
	31	水	第16回	ブロック研究	ブロック
11	7	水	第17回	※第2学年「道徳」研究授業② T・C要請	全体
	14	水	第18回	授業案検討	全体
12	12	水	第19回	研究主題に関わった取組の交流	全体
1	23	水	第20回	一人一実践の全体報告、紀要作成に向けて	全体
	30	水	第21回	研究のまとめ	全体
2	20	水	第22回	来年度の方向性について	全体
	27	水	第23回	研究紀要作成	全体

